

平成22年度 第2回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成22年10月26日 火曜日 午後1時30分～午後3時03分				
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール				
内 容	<p>報告事項</p> <p>(1) 函館市過疎地域自立促進市町村計画（平成22年度～平成27年度）について</p> <p>(2) 東部4地域のまちづくりの方向性(案)について</p> <p>(3) 東部4地域の公共交通等の方向性(案)について</p> <p>(4) 函館市尾札部保育園等児童通園費補助要綱の廃止について</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成23年度 地域別事業計画（案）について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p> <p>(1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて</p>				
出席委員	秋本委員	熊谷委員	濱田委員	竹内委員	木原委員
	遠山委員	佐々木委員	加藤委員	蛭谷委員	高谷委員
	鎌田委員	竹原委員	工藤委員	坂本委員	(計14名)
	・報道関係	函館新聞社			(計1社)
	・傍聴者				(計1名)
欠席委員	小川委員				(計1名)
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長	佐藤洋一	企画部計画推進室長	小野 浩	
	南茅部支所地域振興課長	長谷川大春	同地域振興課主査	進藤昭彦	
	同市民福祉課長	小枝精一	同地域振興課主任主事	小玉 亮	
	同産業建設課長	河合満夫	教育委員会生涯学習部参事	阿部千春	
	同地域振興課主査	西谷光一			
	同地域振興課主任	加我明夫			
	南茅部教育事務所長	田名部洋			
	市立函館南茅部病院事務長	加我賢也			(計12名)

1 開会（午後1時30分）	
事務局 (長谷川課長)	ただ今より、平成22年度第2回函館市南茅部地域審議会を開会します。
2 会長あいさつ	
秋本会長	<p>&lt;挨拶要点&gt;</p> <p>皆様には、時節柄、何かとお忙しいところ、ご出席いただきご苦労様です。本日の審議会は、私たち現行委員にとって最後の審議会となります。平成23年度地域別事業計画案の説明を受けるほか、審議会終了後には新豊崎トンネルなどの現地視察も予定してございます。</p> <p>委員各位の忌憚のないご意見・ご提言を期待し、開会のご挨拶といたします。</p>
3 支所長あいさつ	
佐藤支所長	<p>&lt;挨拶要点&gt;</p> <p>本日は、ご多用の中、ご出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、2年の任期で最後の地域審議会となります。</p> <p>平成20年12月、ご就任以来、地域の振興に向けての精力的なご審議とご提言を賜り、改めてお礼を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。</p>
4 出席委員の報告	
事務局 (長谷川課長)	只今の出席者は13人ですが、加藤委員が遅れて出席するとのことで、欠席者1人となりますので、地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により、会議が成立していますことをご報告いたします。
5 報告事項	
(1) 函館市過疎地域自立促進市町村計画（平成22年度～平成27年度）について	
秋本会長	日程5の報告事項について、事務局から説明願います。
事務局 (長谷川課長)	(資料のとおり説明)
(2) 東部4地域のまちづくりの方向性（案）について	
事務局 (長谷川課長)	(資料1のとおり説明)
(3) 東部4地域の公共交通等の方向性（案）について	
事務局 (長谷川課長)	(資料2のとおり説明)

(4) 函館市尾札部保育園等児童通園費補助要綱の廃止について

市民福祉課  
(小枝課長)

(資料3のとおり説明)

秋本会長

説明が終わりましたので、この件については報告済みといたします。

6 議 題

(1) 平成23年度 地域別事業計画(案)について

秋本会長

日程6の議題に入ります。  
(1) 平成23年度地域別事業計画(案)について、事務局から説明願います。

事務局  
(長谷川課長)

(資料4のとおり説明)

秋本会長

説明が終わりましたので、質疑に入ります。  
質疑ありませんか？

熊谷副会長

ウニ種苗放流事業について、これまで種苗の提供を受けていた鹿部町の種苗センターが閉鎖になったと聞いているが、今後、どのように種苗を確保するのか？

産業建設課  
(河合課長)

知内町の施設から提供を受ける予定と伺っております。

熊谷副会長

遠距離輸送となれば、種苗が弱るなどの影響が少なからずあると思われるが、水槽輸送等の対策を講じるのか？

産業建設課  
(河合課長)

具体的な輸送方法については把握しておりませんが、それらの事も踏まえて、今後、漁協と協議したいと思います。

熊谷副会長

計画に載せる以上は、細かい部分まで協議した形の中でなければ、漁業者に説明しても理解が得られないと思うので、早急に対応してほしい。

佐藤支所長

漁協と協議したうえで計画に登載しております事を、ご理解願います。  
いずれにしても、地域審議会でのご意見を踏まえながら、輸送方法等について心配している旨を、漁協の方にも伝えて参ります。

熊谷副会長

漁業者は、今後、どのようになるのか不安に思っているもので、これまでどおりの放流が実施できるよう漁協と連携して取り組んでほしい。

秋本会長

他にありませんか？

濱田委員

様々な水産振興事業が実施されているが、漁業者は各種事業にどれだけ

	<p>行政の支援を受けているかという認識が低く、漁協や行政がそうした事もきちんと説明しながら、事業を進める必要があると思う。</p>
佐藤支所長	<p>確かに漁協だけでは水産関係事業を実施する事が難しいと思います。</p> <p>例えば、漁港の整備に要する地元負担金は全額、市が負担しておりますし、昆布の漁場造成事業やウニの種苗放流事業についても、2分の1を市が助成しております。</p>
	<p>このように、漁業者の皆さんをはじめ、漁協、行政が連携して取り組むことにより、様々な事業が実施できるということであり、今後もこうした事を、機会ある毎に地域の皆さんへ説明し、理解が得られるよう努めていきたいと考えております。</p>
秋本会長	<p>南かやべ漁協の小川専務理事も地域審議会の委員となっているが、漁協との意見交換も必要だと思うので、支所長に検討をお願いしたい。</p> <p>他にありませんか？</p>
佐々木委員	<p>防災行政無線整備事業の進捗状況はどのようになっているのか？</p>
事務局 (長谷川課長)	<p>防災行政無線は平成3年度に整備しましたが、老朽化に伴い、平成20年度から更新整備を行っております。</p>
	<p>20年度に親局の操作卓と遠隔制御装置、21年度に親局、中継局、再送信子局を更新し、電波を送信する部分については完了しています。</p>
	<p>さらに今年度からは、電波を受信する部分の更新に着手しており、屋外拡声子局60基のうち、老朽化の著しい9基を更新したところであります。</p>
	<p>今後も優先度を勘案しながら、4～5年かけて計画的に更新していくこととしております。</p> <p>戸別受信機につきましては、都度、補修もしくは交換しながら対応していきたいと考えております。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>
遠山委員	<p>観光振興について、配付された資料の「東部4地域のまちづくりの方向性(案)」の中でも、「都市部と地域間の交流を図るとともに、内外に地域の情報を発信するほか、地域に行きたくなるような仕掛けなど多種多様な動機や魅力づくりに努める」と記載されているほか、「合併後の函館市の新しい魅力として、合併を生かした魅力的な新しい観光圏の形成に努める」と掲げられている。</p>
	<p>しかしながら、東部4地域の観光情報の発信が非常に不足していると思われる。</p>
	<p>南茅部地区でも、経営が好調なホテルひろめ荘をはじめ、来年には縄文文化交流センターや漁協が運営する直販加工センターもオープンする中で、こうした地域の魅力を広く発信し、市内外から人を呼び込む事が大事であり、例えば、観光パンフレットを作成したり、旅行会社に宣伝したりするなどの取り組みが必要だと思うが、どのように考えているのか？</p>
	<p>また、現在、整備が進められている直販加工センターについて、今後、地</p>

佐藤支所長	<p>域の観光振興を図るうえで、主要な施設となると思うが、どのような機能を有するのか説明願いたい。</p> <p>それから商工業振興として、疲弊している東部4地域の商工業の現状について、市はどういう認識でいるのか？</p> <p>そして、地域の商工業をどのように活性化していくつもりなのかお聞かせ願いたい。</p> <p>1点目の観光振興についてですが、来年、縄文文化交流センターのオープンが控えている中で、南茅部地区の魅力を内外に情報発信していくという事は、私も非常に大事な事だと認識しております。</p> <p>地域には、縄文だけでなく、温泉、水産加工売店、飲食店など色々な観光資源がありますが、全市的な取り組みの中で、地域限定の観光情報を発信していく事は、中々難しい面があります。</p> <p>そうした中で、支所長の裁量により執行できる予算で、南茅部地区の観光情報を紹介するパンフレットを、今年度内に作成する方向で検討しています。</p> <p>2点目の直販加工センターについてですが、工期が来年の3月までとなっており、昆布製品の売店機能と事務所としての機能を有する施設と伺っております。</p> <p>3点目の地域の商工業の活性化については、中々難しい課題だと受け止めております。</p> <p>合併して、東部4地域は函館東商工会として活動しており、その中で地域における商工業の役割や方向性をきちんとお示しいただき、それを踏まえて支所、もしくは市としてどのような支援が出来るのかという事を詰めていかなければならないと考えております。</p>
遠山委員	<p>観光パンフレットの作成にあたっては、行政だけで進めていくのか、それとも地域住民との共同作業で進めていくのか？</p> <p>また、地域振興・コミュニティ推進経費を活用するとの事だが、南茅部地区の観光パンフレットだけでなく、縄文文化交流センター単独のパンフレットも必要だと思う。</p> <p>やはり観光振興として予算計上をし、地域の意見も取り入れながら、作成すべきではないか？</p>
佐藤支所長	<p>縄文文化交流センターの紹介パンフレットは、管理主体が作成すべきであり、観光パンフレットの作成については、支所の方で原案を作成後、商工会の役員さんからのご意見を伺いながら、南茅部地区の様々な魅力を紹介できるよう取り進めていきたいと考えております。</p> <p>また、水産加工や飲食店などのジャンルについては、こういった形でPRをしていくのか、役割分担しながら進めていく必要があると考えております。</p>
遠山委員	<p>商工業の振興について、函館東商工会が地域限定のプレミアム商品券を発行しているが、予算が少なく枚数を多く発行できないため、地域の活性化につながっていない現状にあるので、こうした取り組みに対する支援を検討してほしい。</p>

佐藤支所長	<p>プレミアム商品券の発行については、私も地域の消費拡大に効果があるものと認識しておりますので、東商工会と支援策について話し合っていきたいと考えております。</p>
秋本会長	<p>市としての見解について、企画部からも説明願いたい。</p>
企画部 (小野室長)	<p>プレミアム商品券につきましては、2年連続で実施し、昨年は15パーセント、今年は10パーセントのプレミアを付けて発行しており、市が8パーセントを補助し、残りの2パーセントを地元の商店街が負担しております。</p> <p>ただ、この商品券も、大型店だけに効果が集中しているのではないかとという声もあり、商工会議所などでも議論されているようです。</p> <p>商工業の振興は非常に難しい課題で、函館中心部でも商工業を取り巻く環境はかなり厳しい状況であり、東部4地域も含めた合併後の商工業の振興をどのように図っていくのかを、支所と共に考えていかなければならないものと考えております。</p>
加藤委員	<p>縄文文化交流センターのオープンに伴い、国宝のある道の駅という大看板を、函館空港をはじめ千歳や羽田空港に設けるなど、将来的には新幹線開通も見据えた取り組みも必要だと考えるが、来年度の事業計画に組み込まれているのか？</p>
佐藤支所長	<p>函館空港には、観光案内板が設置されており、それらを活用して、縄文文化交流センターや中空土偶などを紹介してもらおうとか、交流センターへ向かう国道沿いに、観光案内板を設置する等の取り組みについて、支所としても関係部局に働きかけて参ります。</p>
企画部 (小野室長)	<p>函館市は、全国的にも知名度が高いため、他都市に比べ観光宣伝費が少ない状況にあります。</p> <p>縄文文化交流センターも、国宝である中空土偶が展示される施設ということで、内外から注目を集めておりますが、さらなる広報活動をどのように行っていくのかという事を、支所を通じて地域の皆さんからご提案いただければと思います。</p>
加藤委員	<p>函館に訪れた方が、地域にも足を運んでもらえるように取り組んでほしい。地域の活性化にもつながり、過疎対策事業としても対象になると思うので、検討してもらいたい。</p> <p>また、来年度のオープンに合わせ、関連イベント経費等の予算も計上する必要があると思うが、管理形態が未だに決まっていないため、そうした計画も立てられないのではないかと不安に思っている。</p> <p>それから、国際交流関連事業の推進について、南茅部地区の縄文遺跡は世界的に注目されており、カナダをはじめ海外から研究者が調査に訪れているが、こうした方々との交流を図る事業も検討すべきではないか？</p> <p>あと、支所長にお願いしたいが、観光と水産業の一体化した取り組みについて、例えば、定置網漁業の乗船見学などの実現に向けて、行政として支援できないものか？</p>

生涯学習部 (阿部参事)	<p>縄文文化交流センターの管理形態については、当面は直営でということですが、スタッフの人数が限られておりますので、運営については委託を活用するという方向で検討が進められております。</p> <p>また具体の活用方法につきましては、副市長プロジェクトで検討されることとなっており、国の博物館の位置付けも、国際交流はもとより地域の振興や情報発信の拠点とする等、大きく変わってきておりますことから、その先端を進むような運営に努めて参ります。</p> <p>国際交流の推進については、縄文文化交流センター独自の国際フォーラム等を検討して参りますし、さらに大規模な事業を実施する場合には、関係部局と協議しながら進めていきたいと思っております。</p>
佐藤支所長	<p>私の方から、観光と水産業の連携した取り組みについてお答えします。</p> <p>今年、定置漁業協会の事務局である南かやべ漁協が、乗船見学の実施に向けた協議を協会と進めており、その中で行政として支援できる事があれば、検討したいと考えております。</p> <p>また、ホームステイをしながらの昆布養殖体験も個々の漁業者で受け入れているほか、昆布加工場見学も地域間子ども交流事業の中で行っているようです。</p> <p>これからは、こうした体験学習的な要素も大事になってくるものと思われまますので、今後も注目していきたいと考えております。</p>
秋本会長	他にありませんか？
竹内委員	<p>ホテルひろめ荘について、以前は経営が悪化し、休業となった時期もあったが、最近は利用者も増えて、経営も順調だと聞いている。</p> <p>行政として、経営改善された要因をどのように認識しているのか？</p>
産業建設課 (河合課長)	<p>大きな要因は、やはりプロとアマの差ではないかと思っております。</p> <p>宣伝啓発の方法も民間ならではのノウハウがあり、そうした経営努力が成果として表れているものと思っております。</p> <p>ただ、ホテルひろめ荘はオープン以来、地域の観光振興に貢献してきた訳で、それまでの試行錯誤の結果、現在の姿につながっているものと受け止めております。</p>
竹内委員	地域の商工業を考える時、こうした民間の経営努力は学ぶべき点が多いと思うので、行政に頼るだけでなく、自分達で取り組もうという発想の転換も必要だと思う。
秋本会長	他にありませんか？  (特になし)
秋本会長	他に無いようですので、質疑を終了します。

## 7 地域振興に関する意見交換

秋本会長	日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。 何かご意見ありませんか？
佐々木委員	移動図書館について、現在、地域の利用者はどのくらいいるのか？ 駐車場所を増やしたり、運行日を防災行政無線で周知したりすれば、利用者が増えると思うので、検討してほしい。
教育事務所 (田名部所長)	移動図書館は中央図書館が運営しており、当地区には毎月第2土曜日、 臼尻会館前と尾札部会館前の2カ所で行っていますが、利用者数は把握して おりませんので、後日、資料を郵送したいと思います。 また、昨年まで3カ月に1度、運行日を防災行政無線でお知らせして おりましたが、再度、検討したいと思います。 それから、駐車場所を増やしてほしいという要望ですが、教育事務所の方 から中央図書館に要請して参りたいと思います。
佐々木委員	運行日は広報紙に載っているが、やはり放送でお知らせしてもらった方が 効果は高いと思う。
秋本会長	他にありませんか？  (特になし)
秋本会長	他に無いようですので、意見交換を終了いたします。

## 8 その他

### (1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて

秋本会長	日程8のその他について、事務局から説明があります。
事務局 (長谷川課長)	(資料5のとおり説明)
秋本会長	質疑ありませんか？  (特になし)
秋本会長	他に無いようですので、質疑を終了します。 委員の皆さんには長時間にわたり、熱心にご審議をいただき有り難うござ いました。 以上で、本日予定の日程が全て終了しました。 最後の審議会でありますので、一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。 平成16年12月1日の5市町村の合併を契機として設置されました、 南茅部地域審議会も6年を経過しようとしております。



委員の皆様のご推挙により、熊谷委員とともに、正副会長の重責を担わせていただきました。

この間、委員各位並びに職員の皆さんの特段のご配慮と温かいご支援により、無事、職責を全うすることができました。

心より感謝申し上げます。

結びに、南茅部地域の更なる振興、発展と関係各位のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

本日は、どうもご苦労様でした。

(午後 3 時 0 3 分、閉会)